

駒ヶ根市文化財

名称	ニホンカモシカ
種別	天然記念物
指定	国・特別天然記念物
所在地	中央アルプス
説明	<p>ニホンカモシカはウシ科に属し、俗にイワシカ・ニクなどと呼ばれている。本州・四国・九州にすむ日本特有の動物で昭和 30 年(1955)国の特別天然記念物に指定され、県獣ともなっている。捕獲は禁止され保護されてきたために、分布域が広がり個体数も増えている。</p> <p>姿はヤギに似ており、体長 1～1.2m、体高は 70cm ぐらいで尾は短い。雌雄とも 8～15cm の角をもち、シカのように生えかわることはない。</p> <p>1,500m 以上の山岳地帯の針葉樹林帯や草木帯の岩場や断崖を好み、岩の下や穴、樹穴などに簡単な巣をつくり、4～6 月頃子を産み一年間連れ歩いている。野草や樹木の新芽、シャクナゲ、ツガなどの葉を好んで食べるため、植林地のヒノキなどに被害を与えることもあり、ここ数年「ニホンカモシカの食害」として問題になってきている。</p> <p>中央アルプスを始め西山一帯に広く棲息しており、近年中沢方面にも棲息していることが確認されている。</p>



ニホンカモシカ